

主催：倉敷高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク懇談会《倉敷ネット懇》  
共催：〈ケア〉を考える会-岡山（第39回〈ケア〉を考える会-岡山）

# フォーラム「真備水害から考える」

～ 現場の声を聞いて、参加者で対話する ～

「未曾有の災害」と言われます。  
これをだれが想像したでしょうか。  
この災害の、前、災害のさなか、災害の後、そして、これから先 …… 。  
人々はどうしていたか。今どうしているか。どうなっているか。「真備」はどうなるのか。  
ただの「天災」と考えることはできません。「真備」は「真備」だけのことではないはずです。  
今までを振り返り、これからのことを考えます。ここで住む一人ひとりに目を向けます。  
「真備」の真の復興のために。

■日時：2018年 **9月22日**（土）13:30～16:00

■会場：くらしき健康福祉プラザ・5F プラザホール（倉敷市笹沖 180 番地）

■参加者：どなたでも参加できます。予約不要。直接会場にお越しください。

■参加費：無料

■発表者

- ・片岡奈津子氏(NPO 法人そーる 理事長)
- ・片岡展弘氏(真備平成大水害を考える会)
- ・荻田信之氏(岡山弁護士会/災害対策本部委員)
- ・津田由起子氏(ぶどうの家真備 代表)
- ・西澤里美氏(ケアマネ/ライヴソング)
- ・その他

■司会：林道也（社会福祉士・ケアマネ）



■《倉敷ネット懇》とは……

歳をとっても、障がいがあっても、誰もが安心して暮らすことができる、そんな自分たちの町にするために専門職等によるネットワークづくりを目指しています。倉敷の専門職(弁護士・司法書士・社会保険労務士・行政書士・社会福祉士など)および倉敷市社会福祉協議会等が参加しています。

■連絡先：《倉敷ネット懇》ホームページ ⇒ <https://kurashiki-netcon.jimdo.com/>